

カテゴリ6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリ1 サービス情報の提供

評価項目 6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している [ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		ホームページ・SNS(Instagram)・区の保育園案内冊子にて園の情報(保育方針・年間行事・給食献立・写真等)を随時更新・公開している。	ホームページURL・SNSアカウント／区の保育園案内冊子(掲載ページ)
2 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		パンフレット・入園のしおりは写真・イラストを多用し、わかりやすく作成している。外国籍家庭向けに英語版のポイント資料も用意している。	入園のしおり(日本語・英語版)／パンフレット現物
3 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		区の保育課へ毎年度、定員・空き状況・特色を報告し、区のホームページにも情報が掲載されている。	区への報告書類(提出記録)／区ホームページの掲載ページ
4 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		問い合わせ・見学希望には電話・メールで速やかに対応し、個別の状況(就労形態・家庭事情)を聞き取ったうえで見学日時・内容を調整している。	見学対応記録簿(日時・対応内容)

サブカテゴリ1 サービス情報の提供 について

良いと思う点 SNS・英語版資料の活用により、多様な保護者への情報提供に工夫を凝らしている。個別の見学対応を丁寧に実施しており、入園前の安心感につながっている。	改善する必要があると思う点 ホームページの更新頻度が担当者の負担に左右されることが課題であり、次年度は更新ルール(月 2回以上)と担当者ローテーションを設ける計画である。
--	---

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリ2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等

1	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		入園前に個別の「入園説明・面談」を実施し、重要事項説明書・入園のしおりを用いてルール・サービス内容を丁寧に説明している。外国籍家庭には通訳対応も行っている。	重要事項説明書(保護者署名入り)／入園説明面談記録
2	サービス内容について、保護者の同意を得ようとしている		重要事項説明終了後に保護者の同意書に署名・捺印を得ている。説明内容に疑問がある場合は、追加面談を設けて納得を確認してから受入れている。	同意書(保護者署名・捺印入り)
3	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		入園面談時に「家庭状況・子どもの様子シート」を用いて保護者の意向(就労状況・育児不安・食事・睡眠等)を聞き取り、記録している。	家庭状況・子どもの様子シート(記録済み)

評価項目 6-2-2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

- [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか
・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか

	標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1	サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		入園時に「児童票」「健康記録票」「食物アレルギー調査票」等の統一書式で個別情報を収集し、担任・栄養士・看護師が共有している。	児童票・健康記録票・食物アレルギー調査票(法人統一様式)
2	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		「慣らし保育」を原則2週間実施し、子どもの不安・ストレスの軽減に配慮している。保護者の就労状況に応じて慣らし期間を柔軟に調整している。	慣らし保育実施計画書(個別)／保護者同意記録
3	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		卒園・転園時には保育の引継ぎ資料(発達状況サマリー)を作成し、次の保育機関や小学校へ提供している。保護者には引き続き相談できることを伝えている。	引継ぎ資料(発達サマリー)／小学校への送付記録

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

良いと思う点 入園前の個別面談で保護者の意向を詳細に把握し、慣らし保育を柔軟に対応している。卒園時の引継ぎ資料の作成により、保育の継続性を確保している。	改善する必要があると思う点 外国籍家庭の増加に伴い、翻訳資料の言語対応(現在:英語のみ)の拡充が課題であり、次年度は多言語翻訳サービスの活用を検討している。
--	--

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目 6-3-1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

- [ねらい] ・保育をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか
・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や見直しの基準が確立しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		児童票・発達記録票・健康記録を法人統一様式で記録し、担任が毎月更新している。記録は職員全員が閲覧できる共有ファイルで管理している。	児童票・発達記録票・月次保育記録(法人統一様式)
2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		入園面談→慣らし保育→月次の発達記録の流れでニーズ・課題を把握し、個別支援方針を「個別指導計画」に明示している。	個別指導計画書(対象児)／入園面談記録
3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		月次の発達記録・半年ごとの発達評価(担任・主任・園長で確認)でアセスメントを見直す手順を定めている。	発達評価会議記録(半期)／アセスメント見直し手順書

評価項目 6-3-2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

- [ねらい] ・全体的な計画や子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ、指導計画を作成しているか
・個別的な計画を作成するしくみがあり、子どもの状況に応じて作成、見直しをしているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		全体的な計画(保育課程)を法人と連携して策定し、養護・教育の5領域を網羅した年間・月間・週案を作成している。	全体的な計画書／年間指導計画・月間指導計画・週案
2 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		月間指導計画・週案は子どもの実態・保護者の意向を踏まえて作成し、月末の振り返り会議(クラスミーティング)で見直している。	月間指導計画(振り返り欄付き)／クラスミーティング議事録
3 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		障害・発達上の支援が必要な子どもには「個別支援計画」を作成し、保護者・専門機関と連携しながら3か月ごとに見直している。	個別支援計画書(3か月ごとの見直し記録)
4 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		保護者会(年2回)・個人面談(年1回以上)・連絡帳・ICTアプリでクラスの保育の見通し・子どもの様子を説明している。	保護者会実施記録・配布資料／個人面談記録

5	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している		指導計画の見直し基準(月末振り返り・年度末評価)を運営規程に定め、主任が確認・承認している。	運営規程(指導計画見直し手順)／主任確認印入り指導計画
---	---	--	--	-----------------------------

評価項目 6-3-3

子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している

- [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか
・具体的な保育内容や子どもの変化等が適切に記録されているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		児童票・発達記録票・健康記録・食事記録・アレルギー対応表を一人ひとりのファイルで管理し、担任・養護担当・栄養士が必要時に参照できる体制をとっている。	個人別記録ファイル(施錠管理)
2 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		週案・日誌に「具体的な保育内容」と「子どもの反応・変化」を記録し、主任が月次で確認・コメントを記入している。	週案・日誌(主任コメント入り)

評価項目 6-3-4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか
・日々の子どもの変化等をどのような方で共有化しているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		指導計画は職員室の共有ファイル(紙・電子)に保管し、担任・延長保育担当・フリー職員すべてが閲覧・活用している。	指導計画ファイル(共有)／電子共有フォルダ設定記録
2 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている		毎朝の申し送りミーティング(5分)と連絡ノートで、子ども・保護者の状況変化を全担当職員に申し送りする仕組みを設けている。	申し送りノート・ミーティング記録(日次)
3 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている		月1回、「事例検討会」を開催し、気になる子どもの姿・保護者支援の課題を担任・主任・園長で話し合い、対応方針を共有している。	事例検討会議事録(月次)

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定 について

良いと思う点

申し送りミーティング・事例検討会・指導計画の共有ファイル管理により、職員間の情報共有が日常的に機能している。個別支援計画の3か月ごとの見直しにより、特別な配慮が必要な子どもへの対応の質が担保されている。

改善する必要があると思う点

週案・日誌への記録の質(具体性・表現)に職員間のばらつきがあることが課題として認識されており、次年度は記録研修(記述例を用いた勉強会)を実施する計画である。

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらったことなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。
 ※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善に取り組んでいること、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
[ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		発達記録票・日々の観察をもとに担任が一人ひとりの「全体的な姿」を把握し、月間指導計画・週案に反映させている。	発達記録票(月次)／月間指導計画(個別記載欄)
2 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		コーナー保育(積み木・ままごと・絵本・製作)を常設し、子どもが自ら選んで遊び込める環境を整えている。保育者は見守りを基本とし、必要時のみ関わる姿勢を大切にしている。	コーナー保育設定記録・環境写真／保育日誌
3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		多国籍の子どもが在籍しており、文化・習慣の違いを「世界の食べ物週間」「各国の絵本の読み聞かせ」等の保育に取り入れ、多様性への理解を育てている。	世界の食べ物週間実施記録・献立表／使用絵本リスト
4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		障害・発達上の支援が必要な子どもについては、区の巡回相談員・専門機関と連携した個別支援計画を作成し、インクルーシブな保育実践を行っている。	個別支援計画書／巡回相談記録
5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		トラブル発生時は双方の子どもの気持ちを受け止め、第三者的に言語化する関わりを行っている。事前に「感情カード」を保育に取り入れ、気持ちを言葉にする力を育てている。	感情カード使用記録・実践写真／保育日誌(トラブル対応記録)
6 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		年長児担任が小学校の1年生担任と年2回(10月・3月)の情報交換会を実施している。「アプローチカリキュラム」を策定し、就学への滑らかな接続を図っている。	小学校情報交換会記録／アプローチカリキュラム(年長用)

評価項目 6-4-1 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
コーナー保育の常設・多様性教育・感情カードの活用など、子どもの主体性と多様な個性に配慮した保育環境が充実している。小学校との連携を組織的に実施している点も強みである。	障害・発達上の支援が必要な子どもの保護者との連携において、保護者が専門機関への相談をためらうケースがあることが課題であり、保護者への丁寧な情報提供・寄り添いを継続している。

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良しと思う点を記述します。

評価項目 6-4-2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

[ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか
・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができているか

標準項目	チェック区	私たちの実践例	その実践の記録等
1 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		登園時に連絡帳・口頭で家庭での睡眠・食事・体調を保護者に確認し、担任・フリー職員に申し送りしている。	連絡帳・申し送りノート
2 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		食事・排泄・着替え等の生活習慣は、各年齢の発達に応じた段階的な援助方法をマニュアルに定め、一貫した対応を行っている。保護者にも家庭と連携した援助を依頼している。	生活習慣援助マニュアル(年齢別)／保護者向け連絡文書
3 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		午睡は0～2歳は個別のリズムに合わせ、3歳以上は休息时间として柔軟に対応している。5歳児は3学期以降、午睡を段階的に縮小し就学準備を進めている。	午睡記録表(個別)／5歳児就学準備計画
4 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		降園時に担任またはフリー職員が保護者に口頭でその日の様子を伝え、ICTアプリでの連絡帳にも記録している。時間のかかる内容は個別面談の機会を設けている。	ICTアプリ連絡帳記録／個別面談記録(必要時)

評価項目 6-4-2 について

良いと思う点

個別のリズムに配慮した午睡対応と、ICTアプリを活用した降園時の連絡帳により、保護者との情報共有が密に行われている。5歳児の就学準備に向けた午睡の段階的縮小も計画的に実施している。

改善する必要があると思う点

ICTアプリへの記入を担当が行うため、遅番職員への情報共有が手薄になるケースが散見されとの認識がある。申し送り強化のルール化を検討中である。

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

評估項目 6-4-3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

【ねらい】 ・子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう、環境や取り組みにどのような工夫をしているか
・教育の5領域に即した取り組みを、子どもの年齢や発達の状態に応じて行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		コーナー保育・自由遊び時間 (午前・午後各30分以上)を保障し、子どもが主体的に遊びを選択・展開できる時間と空間を意図的に設定している。	週案・日課表(自由遊び時間確保の記載)／保育写真

2	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		クラス活動(運動遊び・製作・サークルタイム)では、保育者が問いかけ・提案を通じて子どもが自ら気づき、参加意欲を高める働きかけを行っている。	週案・指導計画(集団活動記録)
3	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		0～2歳は応答的なやり取りを基本とし、喃語・身振りに丁寧に反応している。3歳以上は絵本・朝の会での言葉遊び・詩の暗唱など、言語感覚を育む活動を取り入れている。	週案(言語活動記録)／使用絵本・詩リスト
4	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		描画・粘土・コラージュ・歌・ダンス・劇あそびなど多様な表現活動を週1回以上実施し、子どもが表現の喜びを味わえるよう工夫している。	月間指導計画(表現活動記録)／作品展示写真
5	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		週2回以上の戸外活動(近隣公園・散歩)を実施し、季節の自然物(落ち葉・虫・花)に触れる機会を意識的に設定している。	散歩記録表・実施写真／月案(戸外活動計画)
6	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		「クラスのルール」を子どもたちと話し合いながら作成し、掲示している。困ったときの解決手順(話し合う・先生に相談する)を保育の中で繰り返し経験させている。	クラスルール掲示物(写真)／保育日誌(話し合い記録)

評価項目 6-4-3 について

良いと思う点

自由遊び時間の保障・多様な表現活動・言語活動の意図的な展開など、子どもの主体性と5領域の総合的な発達を支える保育実践が充実している。コーナー保育の環境設定も定評がある。

改善する必要があると思う点

クラスルールの形骸化(作成後の定期的な見直しが不十分)が一部のクラスで見られており、定期的な子どもとの振り返りの機会を設けることを課題として認識している。

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

[ねらい] ・子どもが興味を持ち、協力して進められる行事をどのように実施しているか
・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か

標準項目	チェック□	私たちの実践例	その実践の記録等
1 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している		運動会・発表会・七夕等の主要行事は、子どもたちが取り組みの見通しを持てるよう準備期間中から保育に組み込んでいる。子どもの「やりたい」を引き出す導入活動を工夫している。	年間行事計画書／各行事の保育計画・実施記録

2	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		発表会は「クラスで一つの劇を作り上げる」体験を重視し、子どもが配役・衣装・道具の製作に主体的に参加している。完成したことへの達成感・充実感を大切にしている。	発表会実施記録・写真／子どものコメント記録
3	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている		行事の目的・子どもの取り組み状況を事前にお便り・保護者会で説明し、理解・協力を得ている。当日のボランティア参加(テント設営・誘導等)も保護者に依頼している。	保護者向け行事説明文書／ボランティア参加記録

評価項目 6-4-4 について

良いと思う点 行事準備に子どもが主体的に参加する仕組みを設けており、「やり遂げる喜び」を体験できる行事構成が強みである。保護者への丁寧な事前説明により、理解・協力を得ている。	改善する必要があると思う点 コロナ禍以降、一部行事が縮小・オンライン対応のままとされている。保護者の参加機会の回復に向けた行事の段階的な対面実施を計画している。
---	--

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

- [ねらい] ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか
 ・保育時間が長くなることにより保育形態や担当職員が変わっても、子どもが楽しく過ごせるようにしているか

標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		延長保育室には絵本・パズル・積み木等のくつろぎ玩具を用意し、家庭的な雰囲気の環境を整えている。少人数で落ち着いて過ごせるよう、専任の延長担当職員を配置している。	延長保育室環境写真／延長保育担当シフト表
2 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		延長保育開始時に、その日の担任からの申し送り(子どもの体調・気持ち・出来事)を担当職員が受け取り、子どもの様子に応じた関わりを行っている。	申し送りノート(担任→延長担当)／延長保育日誌

評価項目 6-4-5 について

良いと思う点 延長保育に専任職員を配置し、申し送りに基づいた個別配慮ある対応を継続している。家庭的な環境整備にも努めており、長時間保育の子どもの情緒安定につながっている。	改善する必要があると思う点 延長保育利用児童が増加しており、担当職員の配置増強が課題となっている。法人と採用計画を検討中である。
---	--

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

[ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか
・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		配膳台の高さ・食器の大きさ・BGM・座席配置を工夫し、落ち着いて楽しく食事できる環境を整えている。食事中は保育者が傍らで楽しい会話を交わすよう心がけている。	食事環境設定写真／給食会議記録
2 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		栄養士が献立作成を担当し、旬の食材・和食中心・子どもが食べやすい形・味に配慮している。毎月「給食便り」でメニューと食材の旬・栄養を保護者に紹介している。	月間献立表／給食便り(月次)
3 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		食物アレルギー対応は専用のマニュアル・チェック表に基づき、誤食防止のため専用トレイ・座席・提供手順を定めている。毎月の給食会議でアレルギー児の情報を全職員が確認している。	アレルギー対応マニュアル・チェック表(保護者確認印入り)／給食会議記録
4 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		野菜の栽培(トマト・きゅうり・さつまいも等)・クッキング保育(おにぎり・クッキー作り)・地域農家との交流を年間計画に位置付けている。	食育年間計画書／栽培記録・クッキング保育記録(写真)
5 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている		地域の農家から食材提供を受けて給食に活用するほか、地元商店街の八百屋と連携した「お買い物保育」を年1回実施している。保護者参加型の「親子クッキング」も年1回開催している。	農家との連携記録・写真／お買い物保育実施記録・親子クッキング実施記録

評価項目 6-4-6 について

良いと思う点 食育を単なる給食提供にとどめず、栽培・クッキング・地域連携を組み合わせた体験的な食育が充実している。アレルギー対応の多重チェック体制も整備されており、安全管理が徹底されている。	改善する必要があると思う点 栽培活動のスペース確保(園庭の狭さ)が課題であり、プランター栽培の拡充と近隣農家との連携強化で補う計画を進めている。
---	--

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

[ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか
・専門機関や保護者との連携をどのように行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
------	-------	---------	----------

1	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		手洗い・うがい・歯磨きの指導を年齢に応じた方法(人形・絵本・ペープサート)で実施している。看護師による「けがの予防」「感染症予防」の保健指導を月1回行っている。	保健指導実施記録(月次)／使用教材リスト
2	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		医療的ケア児(喘息・てんかん等)については、嘱託医・専門機関・保護者と連携した個別対応マニュアルを作成し、担当職員全員が内容を把握している。	医療的ケア対応マニュアル(個別)／関係機関との連携記録
3	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		毎月の健康観察記録・嘱託医による健康診断(年2回)・保護者との連絡帳でSIDS予防(午睡チェック)・感染症情報の共有を行っている。流行疾患はICTアプリで速やかに発信している。	午睡チェック記録表(SIDS予防)／感染症発生通知文書・ICTアプリ配信記録

評価項目 6-4-7 について

良いと思う点 看護師常勤配置による月次保健指導・SIDS予防の午睡チェック・医療的ケア児への個別対応マニュアルなど、健康管理体制が組織的に整備されている。	改善する必要があると思う点 感染症流行期の保護者への情報発信について、ICTアプリの既読確認ができないため、重要情報が届いているか確認する手段が限られていることが課題である。
---	---

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている [ねらい] ・保護者の個々の事情に応じた子育て支援を行っているか ・園で実施する保育活動に対し、保護者の理解や参加を促しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		就労形態(短時間・時差出勤・在宅等)に応じた送迎時間の調整や、急な残業への対応(延長保育の当日申し込み対応)を柔軟に実施している。育児不安を抱える保護者には随時個別相談を受け付けている。	個別相談記録／延長保育申込記録
2 保護者同士が交流できる機会を設けている		年2回(春・秋)の保護者会のほか、「子育てカフェ」(月1回・任意参加)を設け、保護者同士が悩みを語り合える機会を提供している。	保護者会実施記録・配布資料／子育てカフェ実施記録(参加者名簿)
3 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		連絡帳・送迎時の対話・年1回以上の個人面談を通じて保護者との信頼関係を構築している。担任の異動・休職時も速やかに引継ぎを行い、保護者への丁寧な説明を徹底している。	個人面談記録(年1回以上)／連絡帳(日次)

4	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		保護者向け「子育て講座」(発達・食事・メディア等のテーマ)を年3回実施し、専門家(保健師・栄養士等)を講師に招いて保護者との共通認識を形成している。	子育て講座実施記録・資料(参加者アンケート)
5	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		保育参加(年1回以上・希望制)・給食試食会(年1回)・運動会ボランティア参加など、保護者が保育を体験・参加できる機会を計画的に設けている。	保育参加記録・実施写真／給食試食会参加記録

評価項目 6-4-8 について

良いと思う点 子育てカフェ・子育て講座・保育参加など、保護者が保育に参画しやすい多様な機会を設けており、保護者の孤立防止と養育力向上に効果的に取り組んでいる。	改善する必要があると思う点 子育てカフェへの参加が一部の保護者に偏りがちであり、参加しにくい保護者(就労・言語・心理的ハードル等)への働きかけを強化することが課題として認識されている。
---	--

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

評価項目 6-4-9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている			
[ねらい] ・子どもの生活の幅を広げる視点から、地域とのかかわりをどのように考えているか ・子どもが地域とかかわる機会をどのように設けているか			
標準項目	チェック	私たちの実践例	その実践の記録等
1 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		近隣の高齢者施設(特養・デイ)との交流(歌・制作物の贈呈)を年2回実施している。消防署・図書館・農家・商店街など地域資源を保育活動に積極的に取り入れている。	地域交流実施記録・写真(高齢者施設・消防署・図書館等)
2 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		夏祭り・節分等の園行事に地域の高齢者・民生委員・卒園児を招待している。近隣の小学校の運動会・学芸会への参観を年長児の活動に組み込んでいる。	行事招待記録・参加者名簿／小学校行事参観記録

評価項目 6-4-9 について

良いと思う点 高齢者施設・消防署・図書館・農家など多様な地域資源を保育に活用しており、子どもの体験の幅が広がっている。行事への地域住民招待も継続して実施している。	改善する必要があると思う点 地域交流活動の内容・頻度が担当職員の異動により変動しやすいため、地域連携を計画書(年間交流計画)に明文化し、継続性を確保する取り組みを進めている。
---	---

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらったことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している			
[ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか ・組織としての規定やしぐみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		写真・動画の外部使用(ホームページ・展示等)には保護者の書面同意を入園時に取得している。転園・要保護対応時の情報提供にも個別同意を確認している。	写真使用同意書(保護者署名入り)
2 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		着替え・排泄介助・プール活動の際は、外部から見えない場所・衝立等を使用し、子どもの羞恥心に配慮している。職員研修でも羞恥心への配慮を定期的に確認している。	環境設定写真(着替え・プール時)／職員研修記録

評価項目 6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している			
[ねらい] ・サービス提供の中で、子どもの権利を擁護し、意思を尊重しているか ・子どもと保護者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか			
標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		朝の会・保育活動で一人ひとりの発言を大切に、「一人ひとりが違っていいことを伝える関わりを意識的に行っている。	保育日誌(子どもの発言・関わり記録)
2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		外国籍・宗教的配慮が必要な家庭には個別面談で状況を確認し、食事・行事参加等に個別対応している。	個別面談記録(外国籍・宗教配慮対応)
3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		虐待防止・育児困難家庭支援をテーマとした職員研修を年2回実施し、早期発見・対応力の向上を図っている。	研修実施記録・受講確認書(年2回)

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

良いと思う点	改善する必要があると思う点
写真使用同意・着替え時の環境配慮・外国籍家庭への個別対応など、子どものプライバシーと権利擁護が多面的に実践されている。虐待防止研修を年2回実施し、職員の対応力向上に努めている。	外国籍家庭の多言語対応(日常コミュニケーション・緊急時)の充実が課題であり、翻訳アプリの活用と多言語資料の整備を進めている。

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

[ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、その内容に沿ったサービスを実施しているか
 ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		保育マニュアル・緊急対応マニュアル・アレルギー対応マニュアル等を法人と協力して整備し、職員室に常備している。新入職員研修でマニュアルを用いた説明を行っている。	各種マニュアル(法人・園版)／新入職員研修実施記録
2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		主任が四半期に1回、マニュアルと実際の業務のずれをチェックリストで確認し、リーダー会議で報告・修正している。	マニュアル点検チェックリスト(四半期)／リーダー会議議事録
3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		各クラスにマニュアルのコピーを配備し、担任・フリー職員が日常的に参照できる体制をとっている。疑問点は主任・園長に確認するルールを徹底している。	マニュアル配備記録(クラス別)

評価項目 6-6-2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

[ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか
 ・よりよいサービスをめざし、職員や保護者等の意見を反映して見直しを行っているか

標準項目	チェック☐	私たちの実践例	その実践の記録等
1 提供しているサービスの基本事項や手順等は改定の時期や見直しの基準が定められている		マニュアルの改定時期(毎年度末)と改定手順(リーダー会議→園長承認→法人確認)を規程に定めている。	マニュアル改定規程・改定記録(版管理)
2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		マニュアル見直しの際は、職員からの気づき・提案・保護者からの意見・子どもの様子の変化を反映させ、現場に即した内容に更新している。	職員提案記録・保護者意見記録(マニュアル反映分)

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化 について

良いと思う点

マニュアルの四半期点検・年度末改定・現場からの提案反映という継続的なPDCAサイクルが確立されており、業務の標準化と質の向上が継続的に図られている。

改善する必要があると思う点

マニュアルの電子化(PDF管理)が未整備であり、紙媒体の配備・更新に手間がかかっていることが課題として認識されている。次年度は電子共有の整備を計画している。

※(良いと思う点) 力を入れて取り組んでいること、工夫して取り組んでいること、独自に取り組んでいること、自信を持って取り組んでいること、利用者に知ってもらいたいことなどを含めて、事業者の良いと思う点を記述します。

※(改善する必要があると思う点) 改善の必要があると認識していること、改善計画中のこと、改善に取り組んでいることなどを含めて、事業者の改善する必要があると思う点を記述します。